

## 第19回 ジャパンオープンハンドボールトーナメント 戦評報告書

競技日	平成26年 8月11日	試合番号	A-の
種別・回戦	男子・準々決勝	会場	河南総合体育館

ながさきしんちゅう 長崎社中			えいちしーくまもと HC熊本			得点チェック欄	
27	14	前半	9	23	前半	<input checked="" type="checkbox"/>	
	13	後半	14		後半	<input checked="" type="checkbox"/>	
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>	
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 後半			合計点	<input checked="" type="checkbox"/>	
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>	

戦評	戦評委員氏名	川口 勉
----	--------	------

HC熊本のスローオフで始まった。長崎社中15番員本、4番松永の連続速攻で試合が動き始める。HC熊本も14番山田のサイドシュート等で得点をあげるが長崎社中の厳しいディフェンスの前に得点を重ねることができない。一方、長崎社中は速攻や速いパス回しからのサイドシュートやロングシュート等、多彩な攻撃で点差を開けていった。14対9長崎社中のリードで前半を終了した。後半、長崎社中は1・2・3ディフェンスに切り替え、点差を広げようと試みたが、HC熊本もキーパー12番高橋の好セーブもあり一進一退の攻防が続いた。終盤、長崎社中のミスに乗じてHC熊本は4連続得点をあげ2点差まで追いついた。0・6ディフェンスにより、長崎社中は残り5分のHC熊本の攻撃をしのぎ、27対23で勝利した。

送信担当記録委員	川口 勉 忠 理
----------	----------